まだ自動登録を始めていない皆様へ

〜自動登録Q&A〜

日本ホル協では本年も引き続き、「自動登録」を推進しております。酪農情勢は前代未聞の厳しい状況にありますが、牛群改良の灯を絶やさぬよう、これまで改良に励んで来られた会員農家の皆様のために精一杯のサポートを続けて参ります。

自動登録は、登録料金割引や移動証明が不要などの料金優遇も魅力の一つです。まだ自動登録を実施していない皆様には今一度ご検討を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

今回は、自動登録を始めるにあたって、よく頂く質問や疑問をまとめましたのでご参考ください。

【自動登録Q&A】

Q1．自動登録にはどんなメリットがある？

A1．まず、登録料金が約500円割引となります。また、1頭毎の登録申込書を書く必要がありませんので、各地域の農協等に所属する登録委員の事務作業が軽減します。さらに、血統登録の際には申込書の代わりに出生報告などのデータを使いますので、事務処理スピードが速くなることで血統登録証明書を早く発行することができます。その他のメリットとしましては、自動登録は移動証明が不要となるため、導入牛の名義変更や家族間の名義変更が無料となります。法人化や世代交代のタイミングに合わせて自動登録を始めてみてはどうでしょうか。

Q2．登録申込書が不要になると、登録委員の仕事がなくなってしまわない？

A2．確かに、登録委員の仕事である申込書記入や授精証明書などの準備作業は省略されます。しかしながら、自動登録に必要な作業を確実に行うには登録委員のフォローが不可欠です。具体的には、出生報告や希望名号の申請、場合によっては分娩予定牛一覧の確認などの作業を登録委員が農家に代行している事例が多くあります。また、登録委員の所属する農協も人員削減によって職員一人あたりの業務が膨大になっている所もありますので、自動登録化によって農協の業務整理にも役立てることができます。

Q3．自動登録に必要な作業は何があるの？

A3．必要な作業は、①「家畜改良センターへの届出」と②「データによる授精報告」の二つです。①はご存知の通り、牛の出生や異動、死亡した時に行うもので牛個体識別制度によって義務付けられていますので、酪農経営上欠かせない作業を行うことで達成できます。②は授精の都度、いつ、どの雌牛にどの種雄牛を授精したかという記録を「データ」で報告する作業です。都府県の自動登録農家の多くは、この作業を「牛群検定の授精報告」を利用することによって実施しています。

Q4．自分で考えた名号は付けられないの？

A4．自動登録でも好きな名号を付けることができます。出生報告から1週間以内にFAXで日本ホル協に連絡してください。もしくは、家畜改良センターの「届出Web システム」から出生報告している方は、出生報告と同時に名号を入力できる便利な機能「補足情報報告システム」を利用できます（入力手順は図を参照）。

Q5．登録する牛と登録しない牛を選べるの？

A5．自動登録は飼養しているすべての牛を登録することが必須条件となります。虚弱体質や異性双子の場合はやむを得ませんが、売却するという理由で登録しないということはできません。血統登録牛として価値を付けた上で売却しましょう。また、ホルスタイン種牛群の中にジャージー種やブラウンスイス種など他の乳用種を飼養している場合も同様に登録が必要です。

Q6．ETで生まれた牛は自動登録できるの？

A6．ET生産牛は受精卵証明書や移植証明書の提出が必要なため、従来の個別登録申込書が必要です。自動登録は全頭登録が必須条件ですから、お手数でもET生産牛が生まれたら個別申込みの手続きをお願いします。

◇　◇　◇

都府県では現在、約1千900戸が自動登録を実施しており、今年度の自動登録率（血統登録雌牛のうち自動登録によるものの割合）は71・9％まで増加する見込みです。

また、自動登録農家限定のサービス「自動登録同時SNP検査」を申込むと、ゲノミック情報を分かりやすくビジュアル化した「自動登録同時SNP農家還元情報Web」を利用することができます。

自動登録でお得にスムーズに登録を済ませて、様々な情報から牛群改良を続けて頂きますよう、お願い申し上げます。

（事業部・門間）

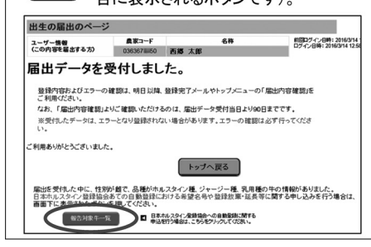
補足情報報告システムから、

希望名号などをインターネットで出生報告と同時に入力できます！

報告手順はこちら！

1 届出 Web システムの「出生の届出のページ」画面で必要項目を入力した後、「データ送信開始」を押します。

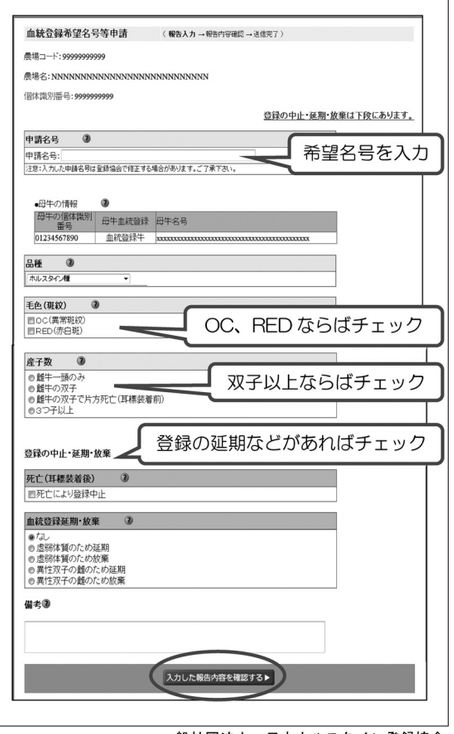
2 「報告対象牛一覧」を押します（届出をした中に自動登録対象牛がいる場合に表示されるボタンです）。



3 「日本ホルスタイン登録協会自動登録補足情報入力」を押すと、日本ホル協の Web ページに接続します。

4 希望名号などを報告入力したい牛の「入力する」を押します。

5 必要項目を入力し、「入力した報告内容を確認する」を押すと、「報告内容確認」画面が表示され、「上記の内容で報告する」を押して報告完了です。



一般社団法人　日本ホルスタイン登録協会

3期連続「ライオネル」首位

2022―12月　海外種雄牛評価

（独）家畜改良センターから12月6日に海外種雄牛2022―12月評価が公表された。

1位は3期連続「ライオネル」

今回の1位もライオネル（フラズルド×モントロス）が獲得した。これで2022―4月より、3期連続の首位となる。

産乳成分、乳量、乳蛋白質量のいずれも表中1位、乳脂肪量は僅差で2位の優れた種雄牛である。

2位は前回初登場で5位だったアーカム（マイルズ×ヨダー）が獲得。産乳成分、乳量、乳蛋白質量が高く、体型は乳器の改良に期待が持てる、バランス型であると言える。

3位のエマージ（アチーバー×ヨダー）は前回64位から大幅にランクアップした。産乳成分、乳脂肪量、更に肢蹄にも秀でている。

新規生は12位マーティン、24位エルウッド、26位ガムボア、34位ノートン、36位モジョ、38位エンデバーの6頭であった。

トップ40の中で父牛別に見ると、アチーバー3頭が一番多かった他は偏りの少ない結果となった。母方祖父牛別に見ると、ヨダーが8頭、ルビコンが6頭、スーパーサイアーが4頭であった。

表　乳用種雄牛評価2022－12月（参考情報：NTPトップ40）－泌乳/得点形質/疾病繁殖成分等　　海外

順位	前回	略号	種雄牛名号	NTP	産乳成分	信頼度%	乳量 kg	乳脂肪 kg	乳脂肪	乳蛋白質 kg	乳蛋白質	耐久性成分	肢蹄	乳器	決定得点	疾病繁殖成分	泌乳持続性	体細胞スコア	在群能力	暑熱耐性	産子難産率	産子死産率	父牛	母方祖父牛
1	1	USA 7H14454	ミスター T-スプルース フラッズ ライオネル ET	4,024	3,870	86	2,630	133	0.25	82	−0.04	257	−0.29	0.68	0.49	−103		1.82	2.52				フラズルド	モントロス
2	5	USA 1H13802	ブルーメンフェルド マイルズ アーカム ET	3,520	2,996	84	1,624	92	0.25	68	0.13	483	−0.08	0.88	0.43	41		1.92	2.65				マイルズ	ヨダー
3	64	USA 29H18852	TTM アチーバー エマージ ET	3,346	2,915	83	1,144	131	0.80	49	0.11	339	0.40	0.38	0.28	92		1.98	2.29				アチーバー	ヨダー
4	2	USA 29H18906	MR リバルリ フリー ビリー ET	3,338	3,583	87	1,012	135	0.90	71	0.35	−152	−0.43	−0.74	−0.66	−93		2.31	1.19				アチーバー	ルビコン
5	4	USA 7H14320	OCD ヒーリクス アルプアアベット ET	3,333	2,781	85	2,008	93	0.13	60	−0.05	481	0.02	0.99	0.74	71		2.12	2.06		6%	6%	ヒーリクス	ヨダー
6	16	USA 7H13727	デスー ジェダイ ジェフリ 13610	3,303	2,504	84	1,525	50	−0.09	68	0.16	561	−0.12	0.90	0.48	238		1.51	3.02			7%	ジェダイ	ロッジヤース
7	7	USA 551H03591	ST ジエン R-ヘイズ ラピッド ET	3,253	2,648	90	1,246	84	0.33	59	0.16	518	0.32	1.00	0.97	87	1.32	2.15	2.47	−2.36	7%	5%	ルビヘイズ	ルビコン
8	25	NLD 11H12219	ピーク アルタザレック ET	3,244	2,587	91	1,120	86	0.40	56	0.18	636	0.03	1.09	0.33	21		1.82	3.39				アルタトップショット	ルビコン
9	23	USA 29H18984	ボーマッズ モントリオール ET	3,228	2,925	85	525	127	1.04	51	0.33	321	−0.13	0.04	0.07	−18		2.28	3.13				メトレー	カプリオレ
10	47	USA 551H03529	ハートジエンリー リチャード チャール ET	3,218	2,694	88	1,512	100	0.37	54	0.04	407	0.02	0.40	0.31	117	0.65	1.86	2.40	−0.44	5%	5%	チャーリー	ヨダー
11	51	USA 29H18960	ペインツリー アキュラ ET	3,200	3,204	88	1,550	105	0.40	70	0.17	40	0.26	0.24	0.29	−44		2.54					アチーバー	プロフライト
12	N	NLD HG-942046	ミッドウオルダー マーティン ET	3,194	2,397	87	1,395	65	0.09	58	0.11	790	0.75	0.91	0.69	7		2.03	4.18				アドラブル	ペンレイ
13	20	USA 250H14134	S-S-I PR レネゲード ET	3,186	2,427	87	649	82	0.55	52	0.30	614	0.53	1.20	1.18	145		1.98	2.65		7%	7%	ジヤルタオーク	ミリンドン
14	8	DNK D-823160	ボナム ET	3,177	2,479	87	1,316	43	−0.08	70	0.25	665	0.52	1.20	0.68	33		1.50	3.04		4%	6%	バリスト	エピック
15	9	USA 29H18705	デスー 14077 トロント ET	3,155	3,025	76	1,442	109	0.48	62	0.14	173	0.23	0.34	0.51	−43		1.69	1.09				バーリー	ルビコン
16	18	USA 200H11120	シーマズ ダーウイン ET	3,141	2,370	90	1,053	82	0.39	50	0.14	631	0.58	1.32	1.24	140		1.65	1.76				スーパーヒーロー	シルバー
17	6	USA 1H13458	AOT プロートーチ ヒーラー ET	3,137	3,090	86	892	117	0.77	61	0.30	16	−0.17	0.43	0.29	31		1.83	0.36				プロートーチ	スーパーサイアー
18	11	USA 11H11779	ボーマッズ アルタトップショット ET	3,102	2,824	91	1,107	87	0.40	64	0.26	228	−0.21	0.07	0.03	50		1.74	3.15		5%	5%	スーパーショット	アルタエンバシー
20	26	USA 29H18545	キヤルロイヤル ヨーダ ET	3,091	2,537	91	971	89	0.48	53	0.20	505	−0.03	1.03	0.74	49		1.51	2.15			7%	ジェダイ	ヨダー
19	14	CAN 200H10744	ボルディ V ジムナスト ET	3,091	2,386	92	1,501	64	0.05	58	0.08	597	0.55	1.41	1.31	108		1.63	2.21			6%	ドアズオープン	ジヤピアー
21	13	USA 7H14229	デスー フラッズ タヒチ 14104 ET	3,082	2,781	87	1,515	93	0.30	60	0.10	249	−0.31	0.78	0.47	52		2.25	1.81				フラズルド	デルタ
22	19	CAN 777H11000	ウエストコースト アルコーブ ET	3,069	2,962	93	1,423	106	0.45	61	0.13	176	0.06	0.64	0.73	−69		2.35	0.85		6%	6%	デユーク	MVP
23	3	USA 1H12964	ブルーメンフェルド GDANC ローリー ET	3,069	2,868	89	1,415	98	0.39	61	0.13	287	−0.12	0.68	0.50	−86		1.86	2.67			6%	ゲートダンサー	ルビコン
24	N	USA 1H13878	マクナラン マターズ エルウッド ET	3,056	2,778	84	1,006	112	0.68	52	0.18	154	0.25	0.56	0.65	124		1.80					マターズ	プラチナ
25	22	USA 1H12966	ブルーメンフェルド ゲートダンサー ランブル ET	3,055	2,424	89	809	89	0.55	49	0.21	522	0.13	1.14	0.85	109		1.18	3.06			6%	ゲートダンサー	ルビコン
26	N	DEU D-811607	カツク ホルスタインズ ガムボア ET	3,055	2,416	82	1,250	69	0.19	57	0.14	502	0.56	1.64	0.93	137		1.23	0.81				ジムナスト	ローバツハ
27	34	USA 29H18711	ペインツリー トルトウーガ ET	3,034	2,527	82	635	93	0.66	51	0.29	411	0.09	0.54	0.34	96		1.87	2.94				バーリー	ヨダー
28	24	USA 29H18343	ABS メトレー ET	3,027	2,500	91	1,087	81	0.36	55	0.17	427	0.13	0.23	0.12	100		1.76	3.50		4%	6%	ヨダー	バリスト
29	50	USA 11H11981	ピーク アルタモントーヤ ET	3,015	2,744	98	995	85	0.43	62	0.28	291	−0.10	1.09	0.80	−20	1.43	1.77	1.14	−0.40	6%	6%	アルタモレノ	スーパーサイアー
30	21	USA 551H03587	ST ジエン スーパーヒーロー スウイフト ET	3,003	2,215	91	1,355	47	−0.05	59	0.13	784	0.59	1.40	1.31	4		2.13	2.76				スーパーヒーロー	タフイナフ
31	10	USA 14H07770	アオツト シルバー ヒーリクス ET	2,984	2,832	91	1,323	107	0.51	56	0.12	173	0.01	0.71	0.55	−21		2.26	0.56		5%	7%	シルバー	スーパーサイアー
32	12	USA 11H12124	ピーク アルタゴープロ ET	2,981	2,832	88	2,178	78	−0.06	68	−0.03	145	−0.20	0.45	0.68	4		1.77	1.19		5%	6%	ヒーリクス	モントロス
33	31	CAN 200H10915	ウエストコースト ヤマスカ ET	2,969	2,561	91	249	79	0.70	58	0.50	343	0.50	0.83	0.99	65		1.88	1.32				アフターバーナー	ヨダー
34	N	USA 551H03713	MR ウイングス ノートン ET	2,968	2,578	85	1,339	66	0.12	64	0.18	402	0.25	1.00	0.66	−12		1.92	2.50				ウイングス	ノミニー
35	36	USA 734H00091	BGP ヨロ ET	2,955	2,311	87	643	101	0.74	40	0.18	560	0.36	1.55	0.97	84	0.80	1.94	1.92	0.78	6%	6%	バンダレス	メリディアン
36	N	CAN 29H18987	デクスプロ モジョ ET	2,941	2,324	87	549	66	0.44	55	0.36	425	0.03	0.64	0.64	192		1.50	2.78				メトレー	ジェダイ
37	15	USA 1H13445	ハートジエンリー モント レマンズ ET	2,932	2,602	86	1,286	97	0.43	52	0.09	283	−0.42	0.16	0.05	47		1.76	3.10				アルタフライホイール	ヨダー
38	N	USA 1H14018	コープ デユーク エンデバー ET	2,916	2,734	87	474	101	0.81	55	0.39	124	0.09	0.65	0.75	58	0.15	1.99			6%	5%	デユーク	ガン
39	30	USA 7H13454	S-S-I ジヨスーパー ロケットファイアー ET	2,916	2,621	85	1,974	60	−0.15	68	0.03	264	−0.43	0.52	0.27	31		2.03	2.94		6%	5%	ジヨスーパー	スターリング
40	17	USA 7H13334	S-S-I キングピン フアントム ET	2,915	2,667	90	1,521	76	0.15	63	0.11	309	0.17	0.77	0.86	−61		2.01	1.39		7%	6%	キングピン	スーパーサイアー

注1）略号前の記号は、登録国を示し、USA(アメリカ)、DNK(デンマーク)、CAN（カナダ）NLD（オランダ）、DEU（ドイツ）。トップ40はCVM、BLAD、プラキスバイナ、CD、すべて正常。
注2）信頼度%は乳量の信頼度　注3）各形質のトップ10にはアミカケしている。　注4）NTP=産乳成分+耐久性成分+疾病繁殖成分

2022―12月公式評価

体細胞スコア

評価手法変更へ

（独）家畜改良センターは、2022―12月公式評価から「体細胞スコア」の評価手法の変更を決定した。

体細胞スコアの評価手法変更の背景

体細胞スコアは、2003年8月の評価開始以降、評価手法や遺伝率の変更がされてこなかった。また、ゲノミック評価値による若雄牛の利用が増えており、世代間隔の短縮が進んでいることから、現在の血縁の遡り数（3世代）だとデータをとる雌牛間で血縁関係が繋がらない可能性が増えてきた。そこで、血縁の遡り数を5世代に変更した新たな体細胞スコアの遺伝評価値を、2022―12月より公表する。

血縁の遡り数の変更と新しい体細胞スコアの遺伝率

これまでは、本牛から数えて3世代（祖父母）まで遺伝評価の計算に加えてきたが、5世代（祖父母の祖父母）まで増やすことで、遺伝評価に採用される頭数が増え（約24万頭）、血縁関係が不明だった個体間で血縁関係が認められやすくなる。

また、血縁の遡り数の変更を加えたうえで、体細胞スコアの遺伝率の再推定を行った結果、従来の遺伝率（0・082）と比較して新しい遺伝率（0・100）は、若干高くなった。

これらにより、遺伝評価値の精度向上が期待できる。

遺伝的トレンド

遺伝的トレンドについては、後代検定済種雄牛について従来の評価手法で評価した結果（従来の体細胞スコア）と新しい手法（新しい体細胞スコア）との比較を行った。特に生年の古い牛では、従来との差が大きくなることがわかった。

検定牛についても同様の傾向が見られたことから、新しい体細胞スコアでは遺伝評価値の精度が向上し、傾きがより明瞭になったことで、改良の方向性が顕著に確認できるようになった（図参照）。

一方で、生年2013〜2017年の後代検定済種雄牛の比較において、従来よりも新しい体細胞スコアでは、値がわずかに大きくなる傾向があるが（1・011〜1・067倍）、相関係数は0・98以上であり、直近生まれの個体では順位の大きな変動はみられなかった。

詳細は家畜改良センターのWebサイトを確認していただきたい。

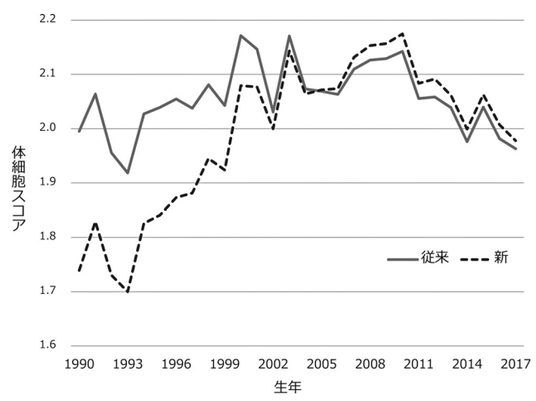


図　後代検定済種雄牛の遺伝的トレンド

日本ホル協特集

日本の酪農を支えるため、あなたの力を発揮してみませんか!!

日本の畜産は、生産者の日々の努力と、
そこに携わる様々な組織や業種に支えられています。
たとえば畜産の一部門である「酪農」では……

様々な組織や専門家が酪農家を支えます

酪農ヘルパー　病気、ケガや用事等で休みをとる酪農家に代わって、搾乳や飼料給与などの作業をおこなう

TMR センター	牛の食べる飼料を専門的に作り、酪農家に供給する
コントラクター	牛の飼料作物を栽培、収穫する代行組織
人工授精師	牛の授精をおこなう
削蹄師	牛の削蹄をおこなう
獣医師	牛の体調が悪くなったとき治療をおこなう

酪農ヘルパー

就職 → 各地にある「酪農ヘルパー利用組合」の職員として勤務します。

給与 ←

酪農ヘルパー利用組合

出役 → 休みをとる酪農家に代わって勤務するので、毎日違う牧場へ出役することになります。

牛舎の清掃（イメージ）

搾乳作業（イメージ）

酪農ヘルパーの仕事の流れ

夕方の作業：午後4時　牛舎の清掃　飼料給与　搾乳　子牛の哺乳　その他の作業　午後8時

朝の作業：午前5時　牛舎の清掃　飼料給与　搾乳　子牛の哺乳　その他の作業　午前9時

酪農生産は生き物を扱う仕事なので、朝・夕2回の搾乳・給餌などの作業が365日欠かせません。そのため酪農家が休日取得や行事参加などで仕事を離れるとき、酪農家に代わって搾乳などの専門作業をおこなう酪農ヘルパーの存在は酪農生産にとってなくてはならないものとなっています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

◉酪農ヘルパーは酪農後継者や、新規就農希望者を育てる最適な仕事です。

酪農ヘルパーについてのご質問などはお気軽に下記までお問合せください。

一般社団法人 酪農ヘルパー全国協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木１丁目37番２号　酪農会館６階
TEL.03-5577-5135　FAX.03-5577-5136
URL：http://d-helper.lin.gr.jp　E-mail：info@d-helper.lin.gr.jp